

## 【熊本 S.J.C.D.例会 抄録】

演題 下顎臼歯部欠損にインプラントを応用した症例

演者名 松下哲也

日付 2006年7月25日

### Key Word

- 1) 咬合支持
- 2) PD (パーシャルデンチャー)
- 3) インプラント

### 抄録

初診が10年前で、47歳、女性の患者です。下顎臼歯部の欠損を、まずPDで治療しました。咬合崩壊の流れの中で、その2年半後、本人の希望で、インプラント補綴に移行しました。その後、6年間のメンテナンス期間を経過しています。

咬合支持をPDで2年半、インプラントで6年経過して、インプラントは、咬合崩壊を防ぐ有効な方法であると改めて実感しました。

諸先生方の、ご意見、ご指導を宜しくお願いいたします。